令和３年度

事 業 報 告 書

令和３年４月１日～令和４年３月３１日

社会福祉法人　東浦町社会福祉協議会

目　次

東浦町社会福祉協議会の組織図　P.1

東浦町社会福祉協議会発展強化計画 2017　体系図　P.2

基本目標Ⅰ　P.4

身近な人との交流を深め、

自分を必要としてくれている居場所があるまち

基本目標Ⅱ　P.9

専門職の連携により、「地域包括ケアシステム」が構築され、

安心して生活できるまち

基本目標Ⅲ　P.24

身近な困りごとを発見しあい、

解決に動くことができる小地域ネットワークのあるまち

基本目標Ⅳ　P.29

誰もが福祉への関心や理解、知識を持ち、

「福祉意識」が高い、どんな人にも優しいまち

基本目標Ⅴ　P.33

信頼される社協があるまち

統計資料　P.38

東浦町社会福祉協議会の組織図

評　議　員　会

理　事　会

監　事

会　員

▷　個　人　会　員
▷　法　人　会　員
▷　団　体　会　員
▷　賛　助　会　員

事務局

総　務　係

▷法人運営事業（理事会、評議員会、社協会費）
▷基金運営管理事業
▷共同募金委員会

地域福祉係

▷福祉センター事業（町受託事業）
▷福祉活動推進事業
▷共同募金配分金事業
▷総合ボランティアセンター運営事業（町受託事業）
▷資金貸付事業
▷日常生活自立支援事業（県社協受託事業）
▷コミュニティソーシャルワーカー事業（町受託事業）
▷生活支援体制整備事業（町受託事業）

介護事業係

▷訪問介護事業（介護保険）
※子育て支援ヘルパー派遣事業（町受託事業）含む
▷居宅介護支援事業（介護保険）
▷障害ヘルパー事業（障害者総合支援）※地域生活支援事業含む
▷障害者相談支援事業（障害者総合支援）
▷放課後等デイサービス事業（障害者総合支援）
▷地域活動支援センター事業（町受託事業）

包　括　係

▷包括的支援事業（知多北部広域連合受託事業）
▷認知症総合支援事業（知多北部広域連合受託事業）
▷認知症対策推進事業（町受託事業）
▷高齢者虐待防止事業（町受託事業）

基本目標　Ⅰ

身近な人との交流を深め、自分を必要としてくれている居場所があるまち

基本施策　1　住民参加と生きがいの場づくり

具体的施策（1）　地域における常設型の居場所づくり活動

No.	実施事業名	内容	主な財源
①	地域支え合いセンターの設置・運営	「相談」「人材育成」「居場所」「つながり」を柱に、地域共生社会の実現のためのしくみづくりや、サービスの受け手・支え手の枠を越えたそれぞれがその人らしい役割を持てるような支え合いを支援しました。 各曜日にテーマを設定し、プログラムを実施し、開所時間中は総合相談窓口を開設しました。 また、協力企業、団体による地域での出前講座を実施しました。 開所日時　月曜日～金曜日（祝日除く）9:00～16:00 テーマ　月曜日　こそだてデー　、　火曜日　スマイルデー 水曜日　シニアデー　、　木・金曜日　ここからデー 利用者　延べ 3,198 人 相談件数　109 件 ささえあいセンター見本市の開催 11 月 11 日（木）131 人　11 月 12 日（金）217 人 ※8 月 27 日（金）から 9 月 30 日（木）は緊急事態宣言発出に伴いにじいろひろばの活動を全面中止としました。 出前講座 おなかの元気教室〔愛知中央ヤクルト販売㈱〕 7 月 13 日（火）　生路ふれあいサロン 参加人数　22 人 7 月 27 日（火）　ふれあいサロンたんぽぽ 参加人数　15 人 8 月 25 日（水）　藤江ふれあいサロン 参加人数　10 人 9 月 2 日（木）　平池台ふれあいサロン 新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止 12 月 16 日（木）　もりおかコミュニティ広場どんぐり 参加人数　15 人	共　募

		人生会議をしてみませんか 〔JA やすらぎセンター(株)・地域包括支援センター〕 9 月 21 日（火）　生路ふれあいサロン 新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止 10 月 25 日（月）　石浜ふれあいサロン東 参加人数　21 人 ふくし出前講座〔チームミンナノチカラ〕 8 月 17 日（火）　石浜中自主防災会 参加人数　8 人 10 月 19 日（火）　生路ふれあいサロン 参加人数　21 人 11 月 21 日（日）　石浜中自主防災会及び地域住民 参加人数　15 人 1 月 20 日（木）　もりおかコミュニティ広場どんぐり 新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止	

具体的施策（２）　地域における活動・交流の場づくり			
No.	実施事業名	内容	主な財源
①	福祉センターの運営	地域の活動・交流の場として地域住民の方に積極的に利用していただけるよう努めました。 新型コロナウイルス感染拡大防止のため、利用人数や活動内容に制限を設け、貸館を行いました。8 月 27 日（金）から 9 月 30 日（木）は、緊急事態宣言発出に伴い利用を中止しました。 ・社協広報掲載回数 発刊毎に福祉センターアラカルトを掲載（12 回） ・利用案内（パンフレット）の配布 新型コロナウイルス感染拡大防止のため、イベント等が中止となり、配布はできませんでした。 福祉センターを活用したモデル事業 ・うたごえサロン 第 3 木曜日／奇数月 新型コロナウイルス感染拡大防止のため今年度は中止 ・脳トレ教室 第 2 火曜日／月 場所：にじいろひろば（スマイルデープログラム） 体操の日　4 月 13 日　13 人　7 月 13 日　9 人 10 月 12 日　6 人　1 月 11 日　4 人	委託費

		音楽の日　5月11日　14人　8月10日　10人 11月9日　9人　2月8日　9人 遊びの日　6月8日　10人　9月14日　中止 12月14日　7人　3月8日　9人 自主トレ　4月20日　2人　5月18日　0人 6月15日　3人　7月20日　0人 8月17日　0人　9月21日　中止 10月19日　1人　11月16日　1人 12月21日　0人　1月18日　0人 2月15日　1人　3月15日　1人	
②	居場所づくり推進事業	常設、非常設に関わらず、地域の活動・交流の場やそれを支える活動等を支援しました。また、現在の担い手のスキルアップ研修等を企画するとともに、新たな担い手の発掘や養成のための講座を実施しました。 ・新たな担い手の養成講座 「『集いの場』について」 開催日：3月7日（月） 場　所：緒川コミュニティセンター 参加者：5人 ・既存の担い手のスキルアップ研修 「おうちで脳トレ ～トレーニングドリル②～」作成・紙面研修 集いの場運営登録団体 27団体に脳トレドリルを配付（346冊） ・集いの場の登録数 27団体（更新団体数26団体、新規登録団体数1団体） ・その他 「元気ですか訪問」東浦町うち活カレンダー配布 「元気ですか訪問」おうちで脳トレ～トレーニングドリル～作成・配付（398冊） 感染対策等に関する相談対応や出前講座の開催	会　費

具体的施策（３）　生活・余暇活動の充実			
No.	実施事業名	内容	主な財源
①	地域活動支援センターの運営	日中活動の場を必要とする障がい者（身体・知的・精神）を対象に、創作的活動や社会との交流促進等を行うことにより、障がい者の日常生活等の向上に寄与しました。 また、当事業では、障害福祉に関わるさまざまな機関・団体と連携して当該利用者の日常生活等を支援しました。 開所日数：240 日 利用延べ人数：2,698 人（うち当事者 1,895 人） 利用者実人数：当事者 75 人 （身体 40 人、知的 19 人、精神 16 人） 平均利用者数：11.2 人／日（当事者 7.9 人／日） ※8 月 27 日（金）から 9 月 30 日（木）は緊急事態宣言発出に伴い事業休止としました。	委託費
②	ふれあい運動会	毎年、福祉施設入所者や在宅障がい者の生きがいと健康づくり、施設間の交流、地域とのつながりを深めるため運動会を実施していますが、昨年度に引き続き、新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止しました。	共　募
③	障がい者スポーツ普及事業	障がい者の社会参加や健康増進、体力向上等、豊かな生活の実現のため、各種の障がい者スポーツ教室を実施しました。 当事業の実施にあたっては、行政の協力を得て会場の確保に努めています。 ・サウンドテーブルテニス教室（週１回　福祉センターで開催） 回数：41 回、利用延べ人数：510 人（うち当事者 279 人） ※9 月は新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止 ・ボッチャ教室（月２回　福祉センターで開催） 回数：21 回、利用延べ人数：当事者 75 人 ※9 月は新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止 ・フライングディスク教室（月１回　体育館で開催） ※今年度は新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止 当事業を通じて、障がい者スポーツの環境整備を図るとともに、障がいや障がい者への理解と認識を深めています。	会　費

具体的施策（４）　地域住民への居場所情報の発信と提供			
No.	実施事業名	内容	主な財源
①	居場所マップの作成	地域に役立つ情報誌「かくさ～ん」を地域特派員と協力しながら情報収集し作成しました。 ・まちに笑顔と元気を届ける情報誌「かくさ～ん」 Vol.8　8 月発行（3,000 部） Vol.9　11 月発行（3,000 部） Vol.10　3 月発行（3,000 部） ・ご当地「かくさ～ん」（7 月発行） 森岡・緒川地区　合計　5,100 部 緒川新田・石浜地区　合計　7,500 部 生路・藤江地区　合計　3,700 部 ・「おもだかたちよりマップ」を活用したイベント おがわヴィレッジプロジェクト会議にてイベント開催について検討しましたが、新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止	委託費

基本目標　Ⅱ
専門職の連携により、「地域包括ケアシステム」が構築され、安心して生活できるまち

基本施策　1　身近な圏域での包括的な相談対応

具体的施策（1）　社会福祉事業者における相談の受付

No.	実施事業名	内容	主な財源
①	福祉の総合相談	身近な福祉の総合相談窓口として地域住民の方からの相談を受け付けました。 ・高齢者の相談窓口 ・生活困窮者の相談窓口 コミュニティソーシャルワーカーによる連携、資金貸付事業、家計支援事業、あんしん預かり事業を参照 ・ひきこもり・不登校の相談窓口 若者こころ相談（臨床心理士相談）第２・４火曜日／月 実施回数：21 回 相談者数：11 人（当事者 6 人、家族 5 人） 相談延べ件数：58 件（当事者 39 件、家族 19 件） ・その他の福祉全般の相談窓口 相談件数：782 件 （生活に関すること 622 件、サービスに関すること 110 件、苦情・要望に関すること 1 件、その他 49 件） ・にじいろひろばの相談窓口 相談件数：109 件 ・ふくし何でも相談窓口 相談件数：48 件	会　費
②	地域包括支援センターの運営	知多北部広域連合及び町から業務受託し、社会福祉士・主任ケアマネジャー・保健師等の専門職が、地域住民が住み慣れた地域で安心して尊厳あるその方らしい生活を継続することができるように、総合相談支援業務、権利擁護業務、包括的・継続的ケアマネジメント支援業務、介護予防ケアマネジメント業務を行いました。 ・高齢者や家族からの相談：4,583 件 ・成年後見制度の活用（相談件数）：154 件 ・高齢者虐待の防止・早期発見 継続対応件数：13 件（新規件数 7 件） 終結件数：112 件（新規件数 12 件） ・地域包括ケア推進会議及び各種部会の事務局	委託費 収　益

		・ケアマネジャーの後方支援：241 件 ・介護予防サービス計画作成：4,492 件 ・ケアプラン事例検討会　12 月 3 日（金）、 2 月 18 日（金） ・地域ケア会議の開催：20 件 （個別支援：9 件、自立支援： 4 件、地域支援：7 件） ・在宅の介護者向け教室（家庭介護者等養成研修：全 4 回） 第 1 回 6 月 7 日（月）、第 2 回 6 月 21 日（月）、第 3 回 7 月 12 日（月）、第 4 回 7 月 21 日（水） ・在宅医療介護連携事業 出前講座「人生会議をしてみませんか」 〔地域包括支援センター・JA やすらぎセンター㈱共催〕 8 月 6 日（金）にじいろひろば終活セミナー 参加人数　9 人 11 月 11 日（木）にじいろひろば見本市 参加人数　10 人	

具体的施策（２）　地域福祉の担い手における相談の受付			
No.	実施事業名	内容	主な財源
①	更生相談（身体障害・知的障害）	ひがしうら相談支援センター（障がい者相談支援センター）や他の相談機関の充実により、平成 30 年度をもって事業を廃止しました。	―
②	地域の福祉力セミナー	令和 2 年度をもって事業終結としました。必要に応じて、にじいろひろばプログラムで実施しています。	会　費

基本施策２　連携と協働により課題解決できる体制の構築

具体的施策（１）　地域包括ケアシステムの構築			
No.	実施事業名	内容	主な財源
①	地域包括支援センターの運営（再掲）	高齢者に留まらない認知症や生活困窮者、複合的な問題を含んだはざまの問題、障がい者等の問題も含めて丸ごと受け止められる体制を目指し、住民の身近な圏域で把握された「丸ごと」相談に迅速に対応しました。	委託費 収　益

②	認知症総合支援事業	・認知症地域支援・ケア向上事業 　認知症の方が住み慣れた地域で安心して暮らし続けるために、認知症地域支援推進員を配置し、医療・介護等の連携強化等による、地域における支援体制の構築と認知症ケアの向上を図りました。 ・認知症カフェ（ひだまりカフェ） 　開催日：毎週水曜日　9：30~11：30 （祝日・年末年始は除く） 　開催場所：にじいろひろば 　開催回数：43 回（新型コロナウイルス感染拡大防止のため、9 月は中止）、延べ参加者数 475 人（平均 11 人/回） 　内容：認知症や介護に関する相談受付、脳トレ、認知症ミニ講座、回想法等 ・認知症予防カフェ（コミュニティ型） 　開催日：3 月 24 日（木）、28 日（月） 　開催場所：緒川新田地区内 　参加者数：24 日 51 人、28 日 26 人 ・高齢者や若年性認知症の方の社会参加活動の体制整備事業 　（幸福屋） 　場所：ふぁーまーずまるしぇ栞里 　開催回数：7 回 　内容：認知症当事者同士の交流及び社会参加活動機会の提供 　　カフェ接客・農作物の収穫等 　当事者参加延べ人数：10 人 ・行方不明高齢者等捜索体制の構築及び捜索模擬訓練 　開催日：2 月 15 日（火） 　内容：認知症サポーター養成講座＆行方不明高齢者等捜索模擬訓練 　場所：イオンモール東浦 　対象：地域住民 ・認知症にやさしいまちひがしうら　おれんじ月間 　（新型コロナウイルス感染拡大防止のため一部日程を変更して実施） 　対象：一般住民、医療・福祉・介護関係者、企業 　内容：認知症にやさしいまちづくり推進条例の周知 　　認知症当事者（希望大使）の講演等の集合型イベントは延期 　　認知症理解への啓発活動（パネル展示・ポスター掲示・関連書籍コーナー）は実施 ・認知症サポーター養成講座	委託費

		開催回数：29 回（町内小中学校、イオンモール東浦他） 養成者数：795 人 ・認知症サポーター等活動促進事業 内容：認知症地域支援推進員による認知症サポーターの地域活動への支援体制の構築、ひがしうらおすそわけ隊活動との連携を検討 ・認知症サポーターフォローアップ講座 イオンモール東浦（住民向け） 開催日：2 月 23 日（水・祝） 内容：講演・パネルディスカッション 講演「当事者の声を聴こう」 講師　愛知県若年性認知症総合支援センター 山口喜樹氏 愛知県認知症希望大使 近藤葉子氏 とんとＯＨＡＮＡ管理者・認定作業療法士 伊藤篤史氏 パネルディスカッション 座長　愛知県若年性認知症総合支援センター　山口喜樹氏 パネリスト 愛知県認知症希望大使 近藤葉子氏 とんとＯＨＡＮＡ管理者・認定作業療法士 伊藤篤史氏 東浦町役場ふくし課長 内田由紀子氏 東浦町高齢者相談支援センター 山田大介 参加者数：26 人 ・サロン向け認知症サポーターフォローアップ講座 開催日：10 月 21 日（木） 内容：地域での認知症の方との接し方。地域で出来る認知症の方の困りごとへの対応方法。認知症当事者の生活の動画視聴。認知症に関する質問相談等。 参加者数：19 人 ・ボランティアグループ「オレンジパラソル」の活動支援 （定例会への参加） 開催日：4 月 28 日（水）、6 月 23 日（水）、8 月 18 日（水）、10 月 27 日（水）、11 月 24 日（水）	

		開催場所：総合ボランティアセンター等 内容：活動の場（認知症サポーター養成講座での認知症対応劇の披露）の提供、勉強会、定例会等の開催支援 ・認知症地域支援講座（多職種連携講座） 内容：人生会議（ACP）の普及啓発 開催日：11 月 23 日（火・祝） 在宅医療・介護連携での一般住民向け講座との合同開催 ・認知症の理解及び普及啓発（認知症ケアパス 1,324 冊配布） ・認知症初期集中支援推進事業 認知症の方やその家族に早期に関わる「認知症初期集中支援チーム」により、早期診断・早期対応に向けた支援方針を協議、支援体制整備及び構築を図りながら、各ケースへの支援を行いました。 認知症初期集中支援チーム員会議　１回／月 認知症初期集中支援チーム検討委員会での活動報告（書面開催） 認知症初期集中支援チームの啓発用チラシの改訂	
③	コミュニティソーシャルワーカーによる連携	住民の身近な圏域で把握された「丸ごと」相談に迅速に対応しました。福祉、医療、保健、雇用、就労、司法、産業、教育、家計、権利擁護、多文化共生等、多岐に渡る連携体制を構築し、多様、複合化する相談に対応しました。 相談利用者実人数：1,031 人 相談延べ件数：2,816 件	委託費

具体的施策（２）　重層的な見守り体制の構築			
No.	実施事業名	内容	主な財源
①	ひとり暮らし高齢者等見守り事業	65 歳以上のひとり暮らしの方、65 歳以上の高齢者のみの世帯（介護サービス利用が週 3 回以上の世帯を除く）を対象とし、希望された曜日・時間帯に週１～３回、安否確認のための電話掛けを行いました。 ・実施日時　平日（祝日除く）8:30～10:30 週１回 23 人 週２回 8 人 週３回 2 人 実利用者数：33 人	共　募

具体的施策（３）　福祉サービス事業者との連携と協働の推進			
No.	実施事業名	内容	主な財源

①	福祉団体地域貢献活動支援事業	町内の社会福祉法人や社会福祉事業者の地域への貢献活動を推進するため、集い相談できる場を定期的に開催しました。 また、連携や協力し、福祉の専門的な知識や技術を活かしながら、さまざまな社会貢献活動を行いました。 ・意見交換会　5 回 開催日：4 月 21 日（水）　参加者数：15 人（10 法人） 開催日：7 月 13 日（火）　参加者数：12 人（10 法人） 開催日：10 月 19 日（火）　参加者数：8 人（7 法人） 開催日：1 月 19 日（水）　参加者数：11 人（8 法人） 開催日：3 月 2 日（水）　参加者数：16 人（9 法人） ・福祉実践教室への協力 6 月 23 日（水）北部中学校 〔高齢者疑似体験〕社会福祉法人あかね会 特別養護老人ホームうのさと茜邸 〔車いす〕社会福祉法人愛光園　ひかりのさとのぞみの家 6 月 25 日（金）石浜西小学校 〔高齢者疑似体験〕社会福祉法人八起社　老人ホーム東和荘 〔車いす〕社会福祉法人愛光園　ひかりのさとのぞみの家 7 月 1 日（木）卯ノ里小学校 〔車いす〕社会福祉法人愛光園　ひかりのさとのぞみの家 7 月 2 日（金）西部中学校 〔高齢者疑似体験〕社会福祉法人あかね会 特別養護老人ホームうのさと茜邸 7 月 8 日（木）東浦中学校 〔高齢者疑似体験〕社会福祉法人八起社　老人ホーム東和荘 〔高齢者理解介護体験〕社会福祉法人成仁会 特別養護老人ホームメドック東浦 〔車いす〕社会福祉法人愛光園　ひかりのさとのぞみの家 10 月 22 日（金）緒川小学校 〔高齢者疑似体験〕社会福祉法人成仁会 特別養護老人ホームメドック東浦 11 月 5 日（金）藤江小学校 〔車いす〕社会福祉法人愛光園　ひかりのさとのぞみの家 11 月 12（金）森岡小学校 〔車いす〕社会福祉法人愛光園　ひかりのさとのぞみの家 11 月 19 日（金）片葩小学校 〔車いす〕社会福祉法人愛光園　ひかりのさとのぞみの家 10 月 29 日（金）、11 月 26 日（金）、12 月 17 日（金）	会　費

		森岡小学校 〔ふれあい交流会プログラム〕 社会福祉法人相和福祉会　くすの樹 ・車いす貸出事業　11 回 株式会社 T―NEXT　パーソナルケアセンターフィロス 社会福祉法人八起社　老人ホーム東和荘 社会福祉法人成仁会　特別養護老人ホームメドック東浦 社会福祉法人愛光園　老人保健施設相生 社会福祉法人あぐりす実りの会 あぐりすデイサービスセンターあい愛いくじ ・ふくし出前講座　3 件 出前講座メニュー冊子を作成、町内小中学校、各地区コミュニティセンター、町内集いの場へ配布しました。 開催日：8 月 17 日（火） 場　所：福祉センター 内　容：メニュー№29（車いすの操作方法、要支援者擬似体験） 参加人数：8 人 社会福祉法人八起社　老人ホーム東和荘 社会福祉法人東浦町社会福祉協議会 開催日：10 月 19 日（火） 場所：生路コミュニティセンター 内　容：メニュー№12（転倒予防教室～転ばぬ先の杖～） 参加人数：21 人 社会福祉法人八起社　老人ホーム東和荘 開催日：11 月 21 日（日） 場　所：石浜中集会所 内　容：メニュー№29（車いすの操作方法、要支援者擬似体験） 参加人数：15 人 株式会社 T―NEXT　パーソナルケアセンターフィロス 開催日：1 月 20 日（木） 場所：森岡コミュニティセンター	

		内　容：メニュー№13（フレイル予防について） 新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止 社会福祉法人八起社　老人ホーム東和荘 ・にじいろひろばチーム「ミンナノチカラ」講座 ４月９日（金）「もしバナゲームでくいのない最期を」 社会福祉法人東浦町社会福祉協議会 参加者数：13 人 ５月 14 日（金）「ほっこり筆ペンアート」 社会福祉法人あぐりす実の会 あぐりすデイサービスセンターあい愛いくじ 新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止 ６月 11 日（金）「竹炭アート教室」 社会福祉法人翌檜　サンライズヒル 参加者数：３人 7 月 9 日（金）「転倒予防教室～転ばぬ先の杖～」 社会福祉法人八起社　老人ホーム東和荘 参加者数：10 人 ８月 13 日（金）「保育園の楽しさ教えます」 社会福祉法人成仁会　夢ハウスめどっこ保育園 参加人数：15 人 ９月 10 日（金）「認知症高齢者とのかかわり~みんなでつくる安心の地域~」 社会福祉法人愛光園　介護老人保健施設相生 新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止 10 月 8 日（金）「リハビリテーションってなに？」　中止 ㈱T-NEXT　パーソナルケアセンターフィロス 11 月 12 日（金）「ほっこり筆ペンアート」 参加人数：9 人 社会福祉法人あぐりす実の会 あぐりすデイサービスセンターあい愛いくじ 12 月 10 日（金）「発達障がい児の心を育むタッチケア」 参加人数：5 人 社会福祉法人相和福祉会　ひがしうらの家 1 月 14 日（金）「和紙で作るはりこのトラ」 参加人数：7 人 ㈱SKY　フェリーチェひがしうら 3 月 11 日（金）「シニア向け筋トレ講座」 参加人数：８人 社会福祉法人あかね会　特別養護老人ホームうのさと茜邸	

基本施策　3　社会的孤立や排除をさせない支え合いづくり

具体的施策（1）　生活課題や困難さを抱える人の支援			
No.	実施事業名	内容	主な財源
①	コミュニティソーシャルワークの実践	生活課題や困難さを抱える方や家族の把握をより丁寧に継続して行いました。また援助が必要であるにもかかわらず、自発的に申し出をしない人・できない人に対して積極的に働きかけて支援の実現を目指すことと地域づくりを並行して行いました。 第２層（日常生活圏域）のコミュニティソーシャルワーカー（生活支援コーディネーターを兼務）として地域に出向き、さまざまな生活課題を抱えた住民が、安心して暮らし続けるために、早期に相談につなげ、必要な支援につなぎました。 ・要援護者に対する見守り・発見・つなぎのネットワークづくり 児童に関する支援調整会議（随時） 関係機関との情報共有会議（随時） 地域住民活動者との情報共有会議（随時） 要保護児童対策地域協議会実務者会議 開催回数：12 回 生活困窮者に対する支援調整会議 開催回数：12 回 重層的支援体制整備事業への移行準備のための多機関連携会議 開催回数：５回 ・要援護者又は家族等に対する相談への対応 相談件数（延べ）：2,816 件 出張相談拠点数：6 か所 ふくし何でも相談開催 開催回数：67 回　相談件数：48 件 （内訳） 森岡地区　開催回数：12 回　相談件数：7 件 緒川地区　開催回数：10 回　相談件数：1 件 緒川新田地区　開催回数：12 回　相談件数：6 件 石浜地区　開催回数：12 回　相談件数：12 件 生路地区　開催回数：11 回　相談件数：16 件 藤江地区　開催回数：10 回　相談件数：6 件 ※新型コロナウイルス感染拡大防止のため、９月、10 月、２月は開催を中止した地区があります。 にじいろひろば内での総合相談実施（随時）	委託費

		・朝食堂 開催日：7 月 29 日（木） 参加者：22 人 開催日：１月 6 日(木) 参加者：15 人 ・こどものよるひろば 開催日：８月 21 日（土） 参加者：13 人（ボランティア含む） ・新たなサービスやしくみの開発 ひがしうらおすそわけ隊養成講座の実施 開催日：11 月 12 日（金）　修了者 5 人 ひがしうらおすそわけ隊のつどいの実施 開催日：10 月 25 日（月）　参加者 9 人 開催日：12 月 14 日（火）　参加者 10 人 ひがしうらおすそわけ隊フォローアップ講座開催 開催日：12 月 14 日(火)　参加者 19 人 「ひとりで悩んでいませんか？」カードの設置 ・地域住民活動との協働と支援（随時） ・地域福祉計画等の推進への協力 健活・縁活・笑活出前講座開催（6 回） 開催日：8 月 26 日（木）　生路コミュニティセンター 参加者：22 人 開催日：１月 17 日（月）　藤江コミュニティセンター 参加者：17 人 開催日：１月 19 日（水）　卯ノ里コミュニティセンター 参加者：17 人 開催日：１月 21 日（金）　緒川コミュニティセンター 参加者：８人 開催日：１月 25 日（火）　石浜コミュニティセンター 参加者：８人 開催日：１月 28 日（金）　森岡コミュニティセンター 参加者：14 人	
②	ひきこもり対策事業	不登校やひきこもりの方に対する社会的な理解が深まるよう啓発を行うとともに、当事者やその家族が抱えている問題や悩みを聴き、必要な支援を行いました。 住民向けの啓発学習会を開催するとともに、同じ立場同士で相談ができる居場所の環境を整えました。	会　費

		・フリースペースの運営　第１・３木曜日／月 開催回数：22 回（9 月は中止） 参加者延べ人数：162 人（当事者 141 人・家族 15 人・その他 6 人） 参加実人数：24 人（当事者 20 人・家族 3 人・その他 1 人） ・住民向け啓発学習会の開催 「コロナ禍におけるひきこもり」 開催日：３月５日（土） 場　所：福祉センター 参加者：22 人	
③	子どもの貧困対策事業	「東浦町子どもの貧困対策推進計画」が策定され、本計画により行政や関係機関、支援団体等と連携して子どもの貧困対策を進めました。 行政機関との調整会議等を通じて生活課題や生活の困難さを抱える子どもの実態調査を進めるとともに、どのような事業を行うことが効果的であるか検討しました。 ・朝食堂 開催日：7 月 29 日（木） 参加者：22 人 開催日：１月６日（木） 参加者：15 人 ・こどものよるひろば 開催日：８月 21 日（土） 参加者：13 人（ボランティア含む）	共　募
④	資金貸付事業	生活困窮に陥った世帯に資金貸付と相談支援を行い、経済的自立や社会参加の促進を図り、安定した生活を送れるように支援しました。 （種別） つなぎ資金　貸付件数：0 件　貸付総額：0 円 生活福祉資金（貸付主体：愛知県社協） 貸付件数：319 件　貸付総額：128,316,000 円 緊急一時資金 貸付件数：0 件　貸付総額：0 円	委託費 会　費

⑤	法外援護（食料支援、行旅者旅費援助）	相談者の生活改善やその生活を守る方法の一つとして、認定 NPO 法人セカンドハーベスト名古屋と業務提供を結び、生活困窮に陥った方に食料支援を実施しました。 なお、困窮世帯を対象に年末年始応援パック SMILE を支給しました。 一時的な困窮状態や、緊急的支援に迅速に対応するため、また地域での食を提供する場を応援できるよう、令和 4 年度からの本格的な事業開始に先立ち、フードドライブ事業を試行的に開始しました。 ・食料支援利用者数　5 人（延べ人数） ・年末年始応援パック支給 12 月 15 日（水）から 12 月 18 日（土）支給 支給数：89 世帯 ・新たな仕組みでの食料支援 11 月からフードドライブ事業を試行的に開始 86 件　3,489 点　820 kg	会　費 共　募
⑥	家計支援事業	家計の自己管理が困難なために生活困窮に陥っている方を対象に、生活改善に向けて家計の見直しの支援を行いました。丁寧に聴き取りをしながら支援計画を作成し、見直しを行いながら自立に向けて支援しました。 利用者数：11 人（内支援終結者数：3 人）	－

具体的施策（２）　権利擁護の推進

No.	実施事業名	内容	主な財源
①	日常生活自立支援事業	日常生活に不安を抱えている認知症高齢者・知的障がい者・精神障がい者の方で、判断能力が不十分な方が、自立した生活を送れるよう福祉サービスの利用に関する情報提供、助言、手続きの援助、利用料の支払い等福祉サービスの適切な利用のための援助を行いました。利用者は年々増加傾向です。また、金銭管理や物品管理等を行い同時に生活の安定も図りました。 利用者数：15 人（内解約者数：5 人、新規利用者数：2 人） 対象内訳：認知症高齢者 10 人、知的障がい者 4 人 精神障がい者 1 人	委託費

②	あんしん預かり事業	生活困窮に陥っている方や、家計の自己管理が難しい方に対して物品や現金の預かりを行い、生活指導、援助を行うことにより生活を維持し、対象者の権利を守ります。そのためにも引き続き物品や現金等の管理体制について検証を行い、適切な管理が徹底されリスクが軽減されるよう、町内の社会福祉法人等との事業連携を考慮し、要綱の改正を検討していきます。 利用者数：8 人（内解約者数：1 人、新規利用者数：2 人）	－
③	高齢者虐待防止事業	高齢者虐待の防止、高齢者の養護者に対する支援等に関する法律に基づき、高齢者虐待の未然防止、早期発見、迅速な対応並びにその後の高齢者本人及び養護者への適切な支援を行いました。 ・高齢者・障がい者虐待防止ネットワーク運営委員会　1 回／年 開催日：6 月 29 日（火） ・高齢者・障がい者虐待防止モニタリング会議　4 回／年 開催日：第 1 回　7 月 26 日（月） 第 2 回　9 月 30 日（木） （新型コロナウイルス感染拡大防止のため縮小開催） 第 3 回　12 月 20 日（月） 第 4 回　3 月 28 日（月） 開催場所：福祉センター ・高齢者虐待コアメンバー会議　10 回 開催日：第 1 回　5 月 31 日（月）、第 2 回　6 月 16 日（水） 第 3 回　7 月 14 日（水）、第 4 回　7 月 16 日（金） 第 5 回　8 月 13 日（金）、第 6 回　8 月 26 日（木） 第 7 回　11 月 9 日（火）、第 8 回　12 月 20 日（月） 第 9 回　2 月 25 日（金） 第 10 回　3 月 25 日（金） 開催場所：福祉センター ・高齢者虐待スクリーニング会議　0 回 ・高齢者虐待弁護士相談　0 回 ・高齢者虐待防止研修会　0 回 ・虐待防止講演会　1 回	委託費

基本施策　4　介護保険・障害福祉サービスの事業継続と質の高いサービス提供

具体的施策（1）　介護保険事業			
No.	実施事業名	内容	主な財源
①	地域密着型 通所介護事業所	平成 31 年 3 月 31 日をもって閉鎖しました。	－
②	居宅介護支援事業所	常時連絡体制を確保しながら、コロナ禍でしたが、ケアプラン作成、見直し、調整等を行い対応しました。今後も利用者を始め、関わる方たちが社会参加できるよう、求められるニーズに応えられるよう力を入れていきます。 平均計画作成件数：108 件／月（予防等含む）	収　益
③	訪問介護事業所	新型コロナウイルス感染予防を徹底して、利用者宅に訪問しています。コロナ禍の中で、利用者のニーズに対応しながら支援を行い、自立につながる支援を心掛けました。 派遣延べ時間：3,809.5 時間（累計）	収　益

具体的施策（2）　障害福祉サービス事業			
No.	実施事業名	内容	主な財源
①	訪問介護事業所	新型コロナウイルス感染予防を徹底して、同行援護、移動支援等の外出支援を行いました。利用者のニーズに耳を傾けながら支援を行い、利用者の自立支援につながるような支援を心掛けました。 ・居宅介護・重度訪問介護事業 派遣延べ時間：2,221 時間（累計） ・同行援護事業 派遣延べ時間：478.5 時間（累計） ・地域生活支援事業（移動支援） 派遣延べ時間：408 時間（累計）	収　益
②	相談支援事業所	新規相談を受け、相談に応えました。今後も当時者の方が社会参加を促進するために支援していきます。 特定相談計画	収　益

		利用支援作成件数：54 件（累計） 継続支援作成件数：152 件（累計） 障害児計画 利用支援作成件数：79 件（累計） 継続支援作成件数：89 件（累計）	
③	放課後等デイサービス事業所	コロナ禍ではありましたが新型コロナウイルス感染予防を徹底して、昨年度に行えなかった活動や初めての取組みを行いました。学校を始め、感染拡大の影響も一部受けましたがニーズに答えるべく利用者に寄り添った支援を行いました。 利用者延べ人数：1,809 人（累計）	収　益

具体的施策（３）　その他の在宅福祉サービス事業			
No.	実施事業名	内容	主な財源
①	福祉車輌・福祉機器等の貸出事業	車いす利用者や公共交通機関を利用することが困難な障がい者の外出支援として、福祉車輌の貸出しを行いました。 ・利用啓発　社協広報 4 月 1 日号で事業紹介を行いました。 ・福祉車輌の利用回数 軽車輌：194 回　普通車輌：19 回　合計回数：213 回 ・車いすの利用回数　（社会福祉法人等の地域貢献事業 11 回含む） 136 回 ・スロープ利用回数　4 回	共　募
②	福祉用具・福祉機器のリサイクル事業	介護保険制度における福祉用具のレンタルの普及により、後の処分を考え、購入でなくレンタルを活用される方がほとんどを占めています。現行の要綱での事業は令和 2 年度末をもって廃止しました。	－

基本目標　Ⅲ

身近な困りごとを発見しあい、解決に動くことができる小地域ネットワークのあるまち

基本施策　1　支え合える人や活動の養成

具体的施策（1）　コミュニティにおける福祉部会の発足支援及び活動支援			
No.	実施事業名	内容	主な財源
	生活支援体制整備事業	日常生活上の支援が必要な高齢者が、住み慣れた地域で生きがいを持って在宅生活を継続していくために必要となる多様な生活支援・介護予防サービスの提供体制の構築を目指し、多様な事業主体と連携して支援体制の充実・強化を図りました。 ・各地域の集まりの場への参加とネットワークづくり 新型コロナウイルス感染拡大防止のため、各地区の状況に応じて実施 ・生活支援サービス等の提供状況及び社会資源の実態把握と社会資源の創出 新型コロナウイルス感染拡大防止のため、各地区の状況に応じて実施 ・関係者間のネットワーク構築 社会福祉法人・福祉団体による地域貢献事業との連携 居宅介護支援事業所連絡会、主任ケアマネ部会（地域貢献部）との連携 ふくし向上ケアカンファレンス　4 回出席 ・ニーズと取り組みのマッチング ひがしうらおすそわけ隊養成講座の実施 開催日：11 月 12 日（金）　修了者 5 人 ひがしうらおすそわけ隊のつどいの実施 開催日：10 月 25 日（月）　参加者 9 人 開催日：12 月 14 日（火）　参加者 10 人 ひがしうらおすそわけ隊フォローアップ講座開催 開催日：12 月 14 日(火)　参加者 19 人 ひがしうらおすそわけ隊活動同行、支援（随時） サロンｄｅショップ　（買い物ツアー） 実施日：毎週金曜日（第 5 週は除く） ※新型コロナウイルス感染拡大防止のため、9 月、1 月、2 月、3 月は開催中止となりました。 ・地域住民向け出前講座開催 もしバナゲーム（2 回）	委託費

		おなかの健康教室（３回） ・地域生活支援部会の開催協力 移送チーム会議　　開催日：11 月 22 日(月) ・第２層（日常生活圏域）での協議体の設置（６地区） 森岡地区：ラポール♡もりもり 緒川地区：おがわヴィレッジプロジェクト 緒川新田地区：卯ノ里コミュニティ福祉部会 石浜地区：クリーンイレブン 藤江地区：藤江プロジェクト 新型コロナウイルス感染拡大防止のため、各地区の状況に応じて支援実施 ・地域のささえあい意識醸成のための講座 健活・縁活・笑活出前講座開催（6 回） 開催日：8 月 26 日（木）　生路コミュニティセンター 参加者：22 人 開催日：１月 17 日（月）　藤江コミュニティセンター 参加者：17 人 開催日：１月 19 日（水）　卯ノ里コミュニティセンター 参加者：17 人 開催日：１月 21 日（金）　緒川コミュニティセンター 参加者：８人 開催日：１月 25 日（火）　石浜コミュニティセンター 参加者：８人 開催日：１月 28 日（金）　森岡コミュニティセンター 参加者：14 人 にじいろひろば啓発企画「ささえあいセンター見本市」 開催日：11 月 11 日（木）、12 日（金） ・人材育成プログラム実施 ここからシェフ体験企画 ①　開催日：６月 10 日（木）　７名参加 ②　開催日：11 月 11 日（木）　５名参加 ・情報誌発行 まちに笑顔と元気を届ける情報誌「かくさ～ん」 Vol.8　8 月発行（3,000 部） Vol.9　11 月発行（3,000 部） Vol.10　3 月発行（3,000 部） ご当地「かくさ～ん」（7 月発行） 森岡・緒川地区　　合計　5,100 部 緒川新田・石浜地区　　合計　7,500 部	

		生路・藤江地区　　合計　3,700 部 ・出張相談拠点数：6 か所 ふくし何でも相談開催 開催回数：67 回　相談件数：48 件 （内訳） 森岡地区　開催回数：12 回　相談件数：7 件 緒川地区　開催回数：10 回　相談件数：1 件 緒川新田地区　開催回数：12 回　相談件数：6 件 石浜地区　開催回数：12 回　相談件数：12 件 生路地区　開催回数：11 回　相談件数：16 件 藤江地区　開催回数：10 回　相談件数：6 件 ※新型コロナウイルス感染拡大防止のため、9 月、10 月、2 月は開催を中止した地区があります。	
②	コミュニティソーシャルワークの実践（再掲）	身の回りで起こる困りごとや相談を地域住民が受け止め、話し合える土壌づくりを行いました。成功経験を積み重ね、住民自身が力をつけ、主体的・積極的な取り組みが広がり、他人事を「我が事」に変える働きかけを行いました。	委託費

具体的施策（２）　地域福祉活動の人材育成			
No.	実施事業名	内容	主な財源
①	地域福祉活動者の養成	地域福祉活動の受け手側の増加に対して支え手側が少ないという状況を踏まえ、それぞれの活動に合わせた地域福祉活動者を養成しました。その一つとして、地域住民を対象にした、住民相互による見守りや協力を行う支援者になるひがしうらおすそわけ隊を養成しました。また養成されたメンバーが地域で活動できるようニーズを聴き取りマッチングさせ、個々がスキルアップできる情報を提供し、フォローしました。 ・生活支援サポーター養成講座（ひがしうらおすそわけ隊養成講座） 開催日：11 月 12 日（金）　修了者 5 人 ・ひがしうらおすそわけ隊のつどいの実施 開催日：10 月 25 日（月）　参加者 9 人 開催日：12 月 14 日（火）　参加者 10 人 ・ひがしうらおすそわけ隊フォローアップ講座開催 開催日：12 月 14 日(火)　参加者 19 人	委託費

具体的施策（３）　ボランティア活動の推進			
No.	実施事業名	内容	主な財源
①	総合ボランティアセンターの運営	ア　センター運営に関する業務 イ　相談・連絡調整業務 ウ　情報の収集・提供業務 エ　人材育成・交流業務 　ア～エの業務を柱にセンターの運営を行いました。 　来館者数：4,624 人 　登録数：団体 102　個人 132 人 　相談件数：365 件 　コーディネート件数：137 件 ＊詳細は別紙「東浦町総合ボランティアセンターなないろ報告書」参照	委託費 会　費

具体的施策（４）　地域における各団体への支援			
No.	実施事業名	内容	主な財源
①	各種団体運営費等助成	ア　団体運営費等助成金 　地域福祉推進のために各種団体等へ助成しました。 ・福祉団体等助成　1 件　504,000 円 ・集いの場運営費助成　7 件　138,000 円 ・福祉協力校事業助成　11 件　815,952 円 ・ﾎﾞﾗﾝﾃｨｱ・市民活動団体助成　14 件　226,260 円 ・コミュニティ助成　2 件　199,000 円 合計　35 件　1,883,212 円 イ　地域福祉活動団体助成金 　行政主体の新たな助成制度が創設され、応募団体を見込むことが困難であるため事業停止中	共　募
②	福祉団体事務局事務及び運営支援	老人クラブ連合会、身体障害者福祉協議会、手をつなぐ育成会ふれんずの事務局として運営の支援を行いました。また、自立に向けた活動や公益性の高い事業を積極的に実施できるような支援を行いました。	－
③	その他の活動支援	ア　民生委員・児童委員との連携 　民生委員・児童委員と連携し、個別支援、地域支援を行いました。 イ　主任児童委員との連携	共　募 会　費

		乳児のいる家庭への訪問活動（赤ちゃん訪問）を支援するために、出産祝い品（障がい者施設の授産製品）を贈呈しました。 ・出産祝い品贈呈件数　291 件	

基本目標　Ⅳ
誰もが福祉への関心や理解、知識を持ち、「福祉意識」が高い、どんな人にも優しいまち

基本施策　1　福祉意識の醸成

具体的施策（1）　学校等における福祉教育

No.	実施事業名	内容	主な財源
①	福祉実践教室	町内の小・中・高等学校の児童生徒を対象に様々な体験プログラムを行い、福祉への関心や理解、知識を得る機会を提供しました。 ・福祉実践教室参加人数 森岡小学校　10 月 13 日（水）　75 人 11 月 12 日（金）　75 人 緒川小学校　10 月 22 日（金）　87 人 卯ノ里小学校　7 月 1 日（木）　90 人 片葩小学校　9 月 10 日（金）　73 人 10 月 15 日（金）　73 人 11 月 19 日（金）　73 人 石浜西小学校　6 月 25 日（金）　78 人 生路小学校　10 月 28 日（木）　63 人 1 月 28 日（金）　50 人 藤江小学校　6 月 15 日（火）　58 人 6 月 22 日（火）　30 人 6 月 23 日（水）　28 人 7 月 6 日（火）　58 人 11 月 5 日（金）　57 人 北部中学校　6 月 23 日（水）　148 人 西部中学校　7 月 2 日（金）　54 人 東浦中学校　7 月 8 日（木）　253 人 東浦高等学校　12 月 3 日（金）　174 人 12 月 9 日（木）　174 人 合計参加人数　1,996 人（ふくし交流プログラム 255 人含む） ・卯ノ里小学校施設見学 6 月 9 日（水）　41 人 ・西部中学校福祉体験活動 新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止	共　募

		・福祉教育プログラム開発　対象者の拡大 ふくし交流プログラム 開催日：10 月 29 日（金）75 人 11 月 26 日（金）75 人 12 月 17 日（金）75 人 開催場所：森岡小学校 協力者：14 人／4 事業所 自主防災会参加による、防災福祉教育 開催日：12 月 9 日（木） 開催場所：東浦高等学校 講師：生路自主防災会　6 名 ・ちょボラ 2021 夏 町内の施設・団体等でのボランティア・福祉体験プログラムを調整し、参加者の福祉の心を育みました。 開催日：7 月 24 日（土）から 8 月 27 日（金） 参加者：小学生　53 人、中学生　37 人、高校生　24 人、 一般　7 人　計 121 人 体験延べ回数：203 回	
②	福祉教育セミナー	令和 2 年度をもって事業終結としました。福祉教育は今後の地域福祉推進の根底となる重要な取り組みです。必要に応じてにじいろひろばプログラムや生活支援体制整備事業の人材育成プログラムで実施しています。	共　募
③	歳末福祉映画	令和 2 年度をもって事業終結としました。福祉教育は今後の地域福祉推進の根底となる重要な取り組みです。必要に応じてにじいろひろばプログラムや生活支援体制整備事業の人材育成プログラムで実施しています。	共　募

具体的施策（2）　各分野の団体へ福祉活動参加の呼びかけ			
No.	実施事業名	内容	主な財源
①	福祉団体事務局及び運営支援（再掲）	老人クラブ連合会、身体障害者福祉協議会、手をつなぐ育成会ふれんずの事務局として運営の支援を行いました。また今後も、自立に向けた活動や公益性の高い事業を積極的に実施できるような支援を行っていきます。	－

基本施策２　すべての人に届く情報の発信と提供

具体的施策（１）　福祉に関する情報発信の強化			
No.	実施事業名	内容	主な財源
①	にじいろフェスタの運営及び出展	様々な福祉団体、福祉施設、ボランティア、地域活動者、学校関係者が協力・協働し、子どもからお年寄り、障がい者、外国人等、誰でも参加、楽しむことができるイベントとして開催します。また、社協として情報発信の機会と捉え独自企画を実施していきます。 ・開催日：11 月 13 日（土）、14 日（日） 新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止	共　募
②	各種イベントへの出展	地区担当制を活用しながらイベントの対象者や年齢層に合わせた福祉情報の提供と東浦社協の啓発のための出展を行いました。 【イベント回数・内容】 ①　第 28 回東浦町於大まつり　4 月 17 日（土） 新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止 ②　うららんフェスタ 新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止 ③　南ヶ丘コミュニティまつり　10 月 10 日（日） 新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止 ④　卯ノ里コミュニティまつり　11 月 7 日（日） 新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止 ⑤　緒川コミュニティまつり　11 月 7 日（日）出展 ⑥　森岡コミュニティまつり　11 月 7 日（日） 新型コロナウイルス感染拡大防止のため文化展のみの開催のため出展見合わせ ⑦　藤江コミュニティまつり　11 月 7 日（日）出展 ⑧　生路コミュニティまつり　11 月 7 日（日） 新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止 ⑨　にじいろフェスタ　11 月 14 日（日） 新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止 ⑩　藤江プロジェクト「だんつくの灯」応援イベント 企画協力　11 月 20 日(土)	会　費

③	東浦社協広報「ひがしうらのふくし」の発行	社会福祉協議会の事業の紹介のほか、ボランティア活動に関する情報や町内の福祉情報の提供のため広報紙を発行しました。 発行回数　12 回（毎月 1 日に発行）	会　費 共　募
④	東浦社協ホームページの運用	福祉に関する情報や企画及び事業の告知、報告を事業ごとに確実に行い、福祉全般の情報を速やかに発信しました。 広く福祉に関する情報を収集・整理し、常に発信・更新していく役割を果たすため、情報投稿回数の増加を図ります。 情報投稿回数：127 回（内訳：社協 72 回・なないろ 55 回）	会　費

具体的施策（２）　情報保障の推進			
No.	実施事業名	内容	主な財源
①	声の広報の発行	利用者のニーズ減少、音訳ボランティアの高齢化等により、令和 2 年 6 月末をもって事業を廃止としました。	－

基本目標　Ⅴ
信頼される社協があるまち

基本施策２　信頼される社協づくり

具体的施策（１）　安定した財源確保			
No.	実施事業名	内容	主な財源
①	会員募集と加入促進	社会福祉協議会が行う様々な福祉活動の自主財源の確保のため、会員募集を行い、加入促進を図りました。 なお新型コロナウイルス感染拡大防止による募集活動の一時見合わせや募集期間の調整もありましたが、状況をみながら地区の役員、民生委員・児童委員の方々に協力をいただき募集活動を行いました。また、3 団体・事業者に寄付感謝状を贈呈しました。 ※実績については、巻末の統計資料参照。	会　費
②	共同募金運動への協力	運動期間を 10 月 1 日から 12 月 31 日と設定し、啓発活動や募金活動を行いました。 ※実績については、巻末の統計資料参照。 ・一般募金運動 期間：10 月 1 日（金）～12 月 31 日（金） ※一部地区の戸別募金について、地区の実情に合わせ運動期間前にお預かりしました。 ・歳末たすけあい運動 期間：12 月 1 日（水）～12 月 31 日（金） ・街頭募金 開催日：10 月 1 日（金）、11 月 1 日（月）、12 月 1 日（水） 開催場所：ドミー東浦店 ・赤い羽根協賛児童・生徒作品コンクールの実施 応募数　964 点 ※表彰式は新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止 ※入賞作品の展示　11 月 1 日（月）から 12 月 3 日（金） 福祉センターにて展示	共　募
③	各種基金・積立金の運用管理	運営基盤の安定及び持続可能な法人運営をするために、「法人運営基金」、「職員退職手当基金」、「福祉基金」、「介護事業基金」、「備品等購入積立金」を管理しました。	－

具体的施策（２）　組織運営の可視化と発信力の強化			
No.	実施事業名	内容	主な財源
①	発展強化計画策定及び進行管理	新型コロナウイルス感染拡大の影響で、計画の最終年度を令和３年度まで１年延長し事業を実施しました。 また、東浦町の地域福祉計画策定に向け、行政との合同事務局として、委員会及び作業部会を行いました。 ・地域福祉推進委員会　６月７日（月）、８月４日（水） 10 月 20 日（水）、２月 21 日（月） ・作業部会　７月９日（金）、15 日（木）、16 日（金） ８月 12 日（木）、19 日（木）、30 日（月）	－
②	情報公開の推進と発信力の強化	法令に基づき、法人運営に係る情報や事業の取り組み等、さまざまな情報ツールを活用し、積極的な情報開示や情報提供に努めました。	－

具体的施策（３）　職員体制の強化と職員の資質向上			
No.	実施事業名	内容	主な財源
①	地区担当制の導入と実施	各部署・部門の職員を横断化した地区担当制により、各地区の状況を共有し、地域課題を解決していくための地域への働きかけを考え実践しました。 令和２年度に引き続き新型コロナウイルス感染拡大防止のため、各種イベントが中止・縮小となっています。コロナ禍でもできる活動を検討し、地域の状況に合わせた働きかけを行いました。 ・森岡・緒川地区 メンバー間における各部署からの情報共有・課題検討 森岡地区移送支援活動の実施 ふくし何でも相談の実施・課題検討 ご当地「かくさ～ん」作成協力 緒川コミュニティまつりへの協力 ・緒川新田・石浜地区 ご当地「かくさ～ん」作成協力 石浜県営住宅住民を対象とした食料品配付会 開催日：３月 29 日(火)　21 世帯に配付 ・生路・藤江地区 ご当地「かくさ～ん」作成協力 藤江プロジェクト「だんつくの灯り」企画協力 開催日：11 月 20 日(土) 野良ねこ問題勉強会 開催日：３月 23 日(水)	－

		生路小学校見守り下校協力 地域住民との顔の見える関係づくり実践（集いの場 やゆうゆうクラブ、地域の少人数の集まり等への訪問） コミュニティにおいて福祉的活動が推進できるよう赤い羽根共同募金を財源とした助成金制度（東浦町コミュニティ推進協議会福祉活動支援助成金交付要綱）を新設しました。 森岡地区コミュニティ推進協議会　100,000 円 藤江地区コミュニティ推進協議会　 99,000 円	
②	部署・部門横断型の職員専門部会制度の導入と実施	部署・部門に共通する取組みについて、組織として体系的に実現していくために、分野ごとに職員による専門部会制度を導入しています。 ・安全衛生・リスクマネジメント部会 毎月一回の定例会で、職員の安全衛生に係る事案の報告・協議、事故等の報告、再発防止策の検討を行いました。 昨年度に引き続き、新型コロナウイルス感染症に係る対応等について、重点的に検討を行いました。 ・職員研修・人材育成部会 人材育成方針（マニュアル）の作成のため、職員の過去の研修履歴の洗い出しと整理、体系図への落とし込み作業を行いました。また並行して、これまでの検討内容を文書化した、職員育成要綱（仮）を作成しました。令和 4 年度より職員会議後、内部での伝達講習を行っていく予定です。 ・広報情報発信、行事、イベント部会 「分かりやすい」「読みやすい」「伝わる」広報や情報発信を研究、検討しました。 ワクチン接種会場内で上映する社協啓発動画の作成や啓発グッズのデザイン検討を行い、オンライン研修（Word で作るチラシデザインセミナー）にも参加しました。また、11 月 12 日（金）に開催されたささえあいセンター見本市では、にじいろ朝市を企画し石浜地区担当と協同で活動しました。 ・居場所部会 にじいろひろば運営支援 町内居場所の状況把握、分析を行いました。 町内に必要な居場所や小グループの集まりについての研究を行	

		いました。 　居場所マップ等作成の検討を行いました。	
③	新たな資源開発のための調査・研究	昨年度からの継続を含めた下記について取り組みました。 ・新型コロナウイルス感染拡大の影響に係る新規立案事業 ①　新型コロナウイルス感染緊急支援（買い物代行・薬の受け取り代行）　（令和 2 年度から継続） 　依頼人数 27 人　（買い物代行 25 回・薬の受け取り代行 16 回） ②　ご当地「かくさ~ん」　（令和 2 年度から継続） ・その他の事業 ①　フードドライブ事業　11 月より施行的に開始 　86 件　3,489 点　820 kg ②　災害時における協力体制に関する協定の締結（一般社団法人大府青年会議所） ③　災害ボランティアセンターの設置・運営等に関する協定の締結（東浦町）	－
④	職員育成の体系化	人材育成方針（マニュアル）の作成のため、職員の過去の研修履歴の洗い出しと整理、体系図への落とし込み作業を行いました。また並行して、これまでの検討内容を文書化した、職員育成要綱（仮）を作成しました。	－

具体的施策（４）　危機管理体制づくり			
No.	実施事業名	内容	主な財源
①	BCP（事業継続計画）の作成	いずれ発生する大規模災害に備え、組織としてどの事業を継続させ、どの事業を停止させるのか。さらにどれだけの職員でその対応にあたるのか等を具体的に計画していく時期にある今、優先的に実施すべき業務（非常時優先業務）を特定するとともに、業務の執行体制や対応手順、継続に必要な資源の確保等をあらかじめ定めるＢＣＰ（事業継続計画）を作成しました。 ・令和２年度に①②を作成したことに伴い、連動するよう③の作成を行います。	－
②	災害時職員行動マニュアルの作成	災害対応を円滑に実施するため、非常時優先業務について留意点やポイント、ＢＣＰ（事業継続計画）には記載されていない具体的な行動手順等を明確にし、災害対応の基本方針を示すことにより、職員が共通認識の下、一定レベルの災害対応を行えるよう、災害時職員行動マニュアルを作成しました。 ・令和２年度に①②を作成しました。	－
③	各事業所の危機管理マニュアルの見直し	ＢＣＰ（事業継続計画）と災害時職員行動マニュアルの作成に合わせ、老人福祉施設、障害者福祉施設等に作成が義務付けられている危機発生時に的確に対応するための危機管理マニュアルの見直しに向け検討を行いました。 ・令和２年度に①②を作成したことに伴い、既存のものを整理し、連動するよう③の作成を行いました。	－

１．会員の加入状況　（単位：円）

区　分		令和元年度	令和２年度	令和３年度
個人会員	会員数	12,583	12,713	12,652
	金　額	6,290,057	6,377,791	6,304,060
賛助会員	会員数	40	49	54
	金　額	55,500	61,500	64,000
法人会員	会員数	213	199	191
	金　額	953,000	892,400	861,400
団体会員	会員数	6	6	6
	金　額	201,000	203,000	209,000
会員合計		12,842	12,967	12,903
合計金額		7,499,557	7,534,691	7,438,460

２．共同募金の状況　（単位：円）

区　分		令和元年度	令和２年度	令和３年度
一般募金	戸別募金	4,939,859	4,837,596	4,807,513
	法人募金	570,800	533,100	536,200
	学校募金	115,593	136,306	145,649
	団体・募金職域	183,428	183,874	163,188
	街頭募金	211,127	10,413	35,296
	イベント募金	98,900	17,500	7,400
	その他募金	39,268	71,193	167,133
	計	6,158,975	5,789,982	5,862,379

３．寄付金の状況　（単位：円）

	令和元年度	令和２年度	令和３年度	
寄付件数	15	16	19	
寄付金額	1,274,555	1,329,154	673,310	※寄付物品も含む

４．基金等の状況　（単位：円）

種　別	令和元年度	令和２年度	令和３年度
運営基金	40,606,868	43,471,687	49,849,988
職員退職手当基金	49,673,702	50,727,734	57,675,013
社会福祉基金	21,912,501	23,084,147	23,560,418
介護事業基金	23,653,038	23,654,919	29,492,446
備品購入等積立預金	14,706,616	14,708,086	14,708,380
計	150,552,725	155,646,573	175,286,245